

とちぎのシニアをもっと元気にする情報誌

いきいき とちぎ

2020

冬号
vol.234

特集

がんばっぺ

作家童門冬二さん(93歳)

特別寄稿「ワインド・ミル(風車)の廻り続ける町」

旬感旅行

大田原市「芭蕉の足跡をたずねて」

とちぎ「里・山」歩き

大谷石のまち・宇都宮まちなか散策



シルバーバード大学校 南校 があらばん

同窓会 栃木支部



栃木支部長
シルバー大学校南校
第35期生
高田 和軌

栃木支部 総務
シルバー大学校南校
第38期生
高久 三男

■栃木支部の主な活動内容を教えてください

高田さん 栃木支部では、会員198人が奉仕部門・文化部門・運動部門・編集部門に分かれて活動しています。文化部門は歴史探訪や懇親研修の旅を、運動部門はハイキングやグラウンド・ゴルフ大会などの行事を企画・開催し、それぞれ会場下見から事前準備、当日の運営まで行います。また、編集部門は年4回の「支部だより」



写真上/「クリーン作戦」で永野川緑地公園周辺を清掃(令和2年2月)
写真中/栃木市の大川市長と交流を深めながら「クリーン大作戦」を実施(令和元年6月)
写真下/「路傍の石」作品コンクールの支援ボランティア(令和元年11月)

を発行。そのほか、栃木市出身の文豪、山本有三氏の心に習い開催されている『路傍の石』作品コンクール』の支援ボランティアに参加するなど、地域に根ざした幅広い活動を行っています。中でも特に力を入れて取り組んでいるのは、奉仕部門が企画する環境美化運動です。
高久さん 年6回、「クリーン作戦」と題し、地域の美化活動を行っています。例年「蔵の街花火大会」後の清掃も行っていますが、今年は残念ながら中止になりました。毎年9月には、栃木市の大川市長をはじめ担

当課の職員の方々に参加いただき、同窓会の枠を超えて地域一体となって「クリーン大作戦」を開催しています。市長が参加してくださることで、参加者のモチベーションも上がります。今年は新型コロナウイルス流行で多くの行事が中止になる中、感染症対策を講じた上で美化活動を継続しています。
■交流活動に参加される会員の皆さんの様子を教えてください
高田さん 栃木支部は卒業生の支部入会率が高いのが自慢です。会員の98%の方が入会してくれているってすごいでしょう？地元で生まれ育った人が多いなどといった地域性もあるのかもしれませんが、支部の仲間とは、互いに〇〇ちゃんと呼び合い、和気あいあいと各行事に参加しています。仲間と過ごす時間は、まるで



写真上/会員相互の親睦を図る懇親会(令和元年5月) 写真下/グラウンド・ゴルフ大会を開催(令和元年6月)

学生時代のように。お互いに刺激を受け合うことで、健康意識も高まっています。定期的に開催する懇親会では、「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに親睦をはかっています。
■今後、どのようなことを意識して支部活動を行っていきたいですか
高田さん コロナ禍で交流活動が制限される中、「早起きして朝食を取る、体を動かす」などの生活習慣に関することのほか、「人と話す・怒らない・三行日記を書く・笑う」など、心の健康に関することも意識して実践しています。目指すのは、「教育・教養」にかけて「今日行く、今日用」！まず出かけて人と話し、他者への奉仕を通して自分が必要とされていることを実感すると、生きがいにつながります。お互いに声をかけ合って、支え合いながら元気に活動したいですね。